

教育目標 【笑顔 夢 感動】

むくの木



掛川市立横須賀小学校 平成27年11月27日 第7号

校庭東にある大きな銀杏の葉がきれいな黄色に染まる中、いよいよ来週に迫った持久走記録会に向けて、子どもたちの真剣な練習風景が見られます。今年で7回目となるこの記録会では、毎年保護者の皆様にボランティアとしてご協力をいただくことで安全に実施することができています。ありがとうございます。また、前回(10/30、11/10)の参観会には91名、懇談会には66名の保護者の皆様にご出席いただきました。教室に入って学習の様子をじっくりと参観される方が増えているように、教育活動への関心が年々高まっていることが、子どもたちの健全な成長に強く結びついていることを実感します。重ねてお礼申し上げます。



先日、本校で開催された小笠地区教員の研修会や教育委員会の学校訪問に際して、1年生活科の公開授業「家族にここ大作戦」では、多数の保護者に学習ボランティアとしてお世話になりました。授業後の話し合いで、本校に勤めたことのある教員から、「良い意味で横小は変わった。子どもたちが大変落ち着いて学習に取り組んでいる。」との発言がありました。同日、50人ほどの参観者があった6年の算数の公開授業では、「わかる、できる楽しい授業を目指している横須賀小の具体を見せていただいたように思います。子どもたちに分かる実感をさせたいという先生の思いも伝わってきました。子どもたちの話し方、説明の仕方も分かりやすく、日常の指導が生きていると感じました。」という嬉しい感想をいただきました。これらは、日頃の保護者の皆様のご支援・ご協力があったからこそ表れだと思えます。ありがとうございます。朝晩の冷え込みが厳しくなり、マスク着用の子が急増しました。一人でも多くの子が持久走記録会に参加して、本気の力を発揮することができますよう週末の体調管理と励ましの言葉をよろしく願います。

『気をつけよう 知らない道より 慣れた道』

11/2に掛川市防犯リーダーの森田和昌様に講師をお願いし、防犯訓練を実施しました。不審者役の講師が事務職員に「いたずらをした子どもを出せ」と暴言を吐きながら、刃物を持って教室に向かおうとする状況の中、放送による指示で全校児童を体育館に待避させました。体育館では、講師から不審者に遭遇した際の間合いの取り方や防犯ブザー等の使い方の指導を受けました。持っていない子が予想以上に多かったこと、ブザーや笛があっても使えない状態になっている子が大変多かったことが判明しました。このたび交通安全スローガンで内閣特命担当大臣賞を受賞する6年生佐々木慶人さんのスローガン『気をつけよう 知らない道より 慣れた道』は、防犯面においても啓発効果があるように思います。地域の皆様の声掛けや見守りで、他地区と比べて不審者が出にくい横須賀地区ではありますが、日暮れの早くなるこの時期、各ご家庭でも交通安全の声掛けや危険箇所の確認とともに、不審者対策についてもお子さんとしっかりと確認していただければと思います。



本気と絆がテーマの高めあうステージも後半、あと1か月となりました。みんなの力で大成功したキラリ！ふれあいコンサート、6年間の学びを深めた修学旅行のように、むくの木発表会や観音山自然教室等でも、本気で一歩前へふみ出す経験をさせたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援を引き続きよろしく願います。

校長 松村 敏典